目次

調査の概要
機能と特徴
実装品質
知覚品質
ADAS
インフォテイメント
ナビ
音声認識
コネクテッド機能
利便性

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテイメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。（モデルによっては全ての評価項目を備えているわけではない。）

2021年度の評価対象車種/システム：Mercedes Benz S Class、CUPRA Formentor、Tesla Model S、Hyundai IONIQ 5、Lexus LS、BMW iX（本書）、Cadillac Escalade、ほか（※ 対象車種は状況により変更となる場合がある）

UX EVALUATION

In-Car HMI UX Evaluations

レポート番号：635(21g)

BMW iX
UX ベンチマーク評価

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX（ユーザーエクスペリエンス）はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

SBD AutomotiveのUX（ユーザーエクスペリエンス）専門チームでは、BMW iXのHMI UX評価を実施しました。この新型電動SUVは、第8世代のiDriveインフォテインメント・システムを採用し、パーソナライゼーションのための新たなソフトウェア機能やさまざまなオプションをユーザーに提供しています。

iDrive 8は、14.9インチのセンター・タッチスクリーンに搭載され、ダッシュボードを覆う単一のディスプレイに12.3インチのデジタル・インストルメント・クラスターとともに配置されています。iDrive 8には、機械学習型AIとクラウドのデータを活用し、ユーザーの最近の行動に基づいてUXオプションを推奨する新機能、BMW IDも導入されています。iXは、Apple CarPlayおよびAndroid Autoとの統合をサポートし、5Gを活用してOTAアップデートを提供します。

対象市場

欧州　北米　中国
日本　グローバル　その他

レポート発行頻度

毎年更新　四半期更新　年間8車種

レポート形態

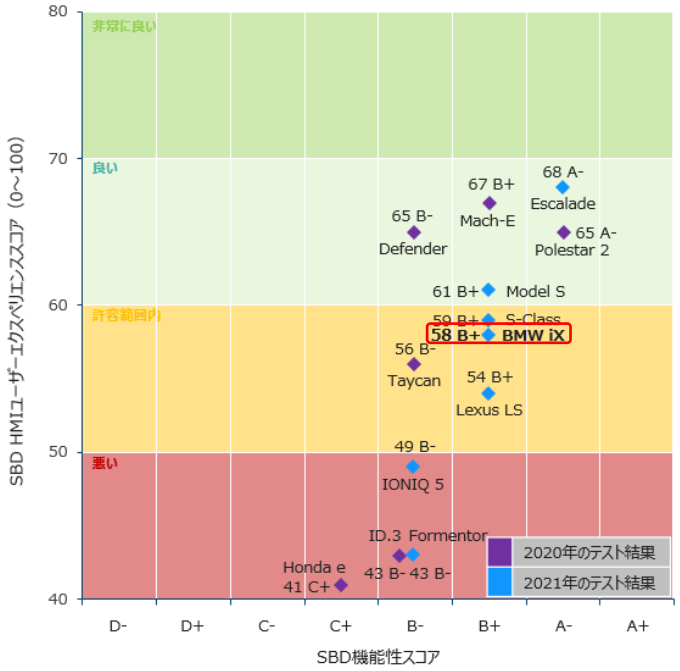
PDF　PowerPoint　Excel　Online

ページ数

170+

お問合せ >

安定性への懸念に影響を受けるが高スコアの可能性を秘めたシステム



BMW iXのインフォテイメントシステムは概ね素晴らしく、シンプルで使いやすいことから、BMWが「テクノロジーフラグシップ」と称するのにふさわしいと言える。SBDがテストした対象が発売前の初回量産車であったことから、信頼性に関する問題の発生頻度が高く、予想より低いスコアとなった一因になっている可能性がある。

発生した信頼性に関する問題の大半は、ソフトウェアアップデートによって解消できると想定される。これらの問題を除けば、iXのコックピットは、快適な環境とシステムを実現しており、シンプルで直感的なインターフェースを提供している。

本書では、BMW iXのADAS、インフォテイメント、ナビ、音声認識、コネクテッド機能の＋/－面を詳細に分析する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。

本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「BMW iX: UX ベンチマーク評価」

お問合せ・お見積り依頼 >

サンプルレポートの無料ダウンロード >